



## 追悼記事

# 岡田茂名誉会長を偲んで

### 岡田茂名誉会長の告別式

本年5月9日に逝去された東京広島県人会岡田茂名誉会長の告別式が東京・青山斎場にてしめやかに執り行われました。芸能界は言うに及ばず政界・官界・財界の方々が参列され故人を偲んでいました。平成6年に東京広島県人会の会長になられ14年の間に県人会は皆で集まって楽しくやるもの、と言われ、会員も飛躍的に増え今日の礎を築かれました。今でも「君らちゃんと県人会をやってくれよの！頼むで！」と天上から声を掛けられているような気がします。



### 林有厚・県人会会長の弔辞

本年5月9日、尊敬する岡田茂名誉会長が87年の生涯を閉じられました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。そして平成6年から平成20年までの14年間、東京広島県人会会長を務められたその功績に対し改めて感謝申し上げます。

私が氏に高誼を頂く様になったのは何時頃だったでしょうか。17～18年前になりますか、岡田茂氏より直に電話が掛かってきました。氏は学生時代、柔道の猛者として活躍。学歴社会の最も強かった時代に引く手数多の東大を卒業すると、郷里の先輩である東横映画（現東映）社長に請われて入社。新入社員として入社するや映画界に「きけ、わだつみの声」のプロデュースをはじめ次々に話題作を送って新風を巻き起こし、広島出の風雲児と謳われていました。

中学時代山陽線本郷から広島修道校に通学していた私は、西条出身の岡田氏なる快男児の存在は聞いていましたが親交はなく、何かと電話に出ると「県人会を手伝えよ」との話で会員の一人として加わる事になりました。その頃東京商工会議所の議員でもあった私は、やがて氏のサービス情報部会長のもとで副部長として親しく指導を受けるようになります。豪快で単刀直入、人の心を捉える人柄に教えられる事が多くありました。

岡田氏は波瀾万丈の映画人生に情熱を賭けられました。映画作りに必要なのは「不良性感度」だというのが持論でした。一方で人の面倒見も良く、往時の広島県人会は財界人の集まりで近寄り難かったのですが、故郷広島を離れて働いている人達にも声をかけよう。成功者だけでなく若い人達にも親しく話せる会にしていきたい。県人会は庶民のもの、正しく県人のものと小規模の会から3000人を超える県人会に育てられました。平成20年に因らずも県人会の会長をお受けしました。岡田氏と話している時、君の人生で何が思い出に残っているかと問われ、「それは中学時代の汽車通学で車窓から夕日を眺め将来を語り合った青春時代ですね」と答えますと「そうだろう。心に故郷がある君に県人会長をやって欲しいんだ」と言う言葉には県人会長を辞退できなくなってしまいました。

東京から故郷広島を想う仲間が集い、交流を深めるなかで共に楽しんだり、時には助け合う。そういう県人会の礎を作られ、大きく育てられた氏の夢を受け継ぐのを使命として、これからも東京広島県人会のお手伝いをしていきたいと思っています。岡田茂氏にはこれからも天国にあって県人会を見守っていただける様願っています。

# がんばろう日本 東京広島県人会の集い

2011年5月19日(木) 東京ドームホテル 天空の間

3月11日の東日本大震災の爪痕がまだそのまま残る5月19日、恒例の春季役員懇親会は被災地を応援する会へ衣替えして「がんばろう日本 東京広島県人会の集い」として東京ドームホテル天空の間で225名のご参加をいただいて開催しました。

様々な催しが自粛され停滞感が漂った中で、日本をそして、県人会を活気付けるため敢えて開催を決定しました。この集いは、被災地復興の願いを込めての会としました。会場入り口にはボランティアで東北を訪れた池永憲彦、祝武志、水口幹夫らの各幹事が撮った被災地の写真を掲出して広島恒例の募金樽を置き、募金をお願いしました。

また、この集いの冒頭に、当県人会の繁栄を築かれた岡田茂前会長のご逝去という訃報に接し、故人のご冥福を祈るとともに、生前のご尽力に対する感謝をこめて黙祷をささげました。

佐藤真由美さんの司会進行で、林有厚会長が登壇され壇上に置かれた募金樽へ募金いただいた後にご挨拶され、続いて湯崎英彦県知事のご挨拶を頂戴した後、岩部金吾副会長、児玉幸治副会長のご発声で乾杯となりました。

乾杯後は歓談タイムとしましたが、この中で、お招きした国会議員の方々のご紹介、県内の市町長の一言スピーチ、経済団体や県庁関係者、他県人会の方々をご紹介。春恒例の新任県市職員のご紹介と続きました。乾杯までのご挨拶を少なくし、乾杯後の歓談タイムでご招待した方々のご紹介という新しい趣向で、失礼の段もあったかと思われそうですが、ご列席いただいた方に概ね好評をいただきました。県人会の運営は幹事の皆さんのボランティアで遂行されており、そのご尽力に感謝をこめて幹事会現況報告もさせていただきました。

会場には東北地方の地酒が並べられ、復興支援の一助としました。東京ドームホテル様にも多方面にわたるご協力を賜り、多額の義援金を捻出することができました。これらの義援金はこの集いの最後に林会長から日本赤十字社広島県支部を代表して湯崎県知事へ手渡されました。皆様のご協力で集めることができ日本赤十字社広島県支部へ渡された義援金は右表の通りです。

東京広島県人会	500,000円
県人会の集い剰余金	581,433円
県人会の集い樽募金	164,672円
青年部懇親会募金	22,139円
歓迎会剰余金	13,279円
ゴルフクラブ役員会募金	14,045円
ゴルフクラブ募金	97,500円
合計	1,393,068円



林有厚会長のご挨拶



岩部金吾副会長と児玉幸治副会長



被災者の方々と岡田名誉会長に黙祷



被災地での支援活動の写真展示



東北の地酒を飲んで復興支援



湯崎英彦広島県知事



松井一寛広島市長



三村裕史熊野町長



吉田隆行坂町長



竹下正彦北広島町長



山口寛昭世羅町長



林会長から、日本赤十字社広島県支部長・湯崎県知事へ義援金の贈呈



幹事会の活動報告、役員紹介



応援歌「momiji」を全員で熱唱

### 県人会応援歌『momiji』

作詞：祝武志(joint tree) 作曲：池永憲彦 アレンジ：DJ SASA

その話し方 すぐ解ったよ 同じ広島生まれだね  
胸の奥 暖かくなって 自然に解り合えてる  
育った場所の言葉が 嬉しい時には洩れてしまうよ  
やっぱり懐かしくなるよ 食べたいな 故郷(こきょう)の味

鉄板で焼いたお好み焼き ヘラでつついて喰おうや  
小イワシの刺身と地元の酒 置いてある店に行こうや

広島最高

仲良く手繋いだ 紅葉たちの想いは一つ  
楽しく笑い合えば 遠く離れても ここはふるさと

この世界中 もみじたちは 争うより解り合いたくて  
やっぱり平和が良いよね おせっかいなくらいでも  
心重ね合って未来 一緒に乗り越えていこうよ  
真っ赤に燃える想いは 消える事の無い炎

仲間の為に何かを少しでもしてあげとて  
永遠(とわ)の祈り捧げるように  
目の前のあんたが好きじゃけん

広島最高

仲良く手繋いだ 紅葉たちの想いは一つ  
楽しく笑い合えば 遠く離れても ここはふるさと

広島最高

優しい手掴んだ もみじ達の絆は固く  
明るい微笑みを 絶やさずに進んでいこうよ

仲良く手繋いだ 紅葉たちの想いは一つ  
楽しく笑い合えば 遠く離れても ここは広島!



増田和俊三次市長



藏田義雄東広島市長



浜田一義安芸高田市長



田中達美江田市長

## フォーラム Forum

# 防災の第一人者村上先生が東日本大震災を語る 第19回県人会フォーラム

3月11日、M9.0という世界でも5本の指に入る東日本大震災に見舞われた。津波による被害が甚大で、死者1万5千名、行方不明者5千名という人的被害、また青森から千葉に至る沿岸部の構造物は自然の莫大なエネルギーの前にもろくも崩れ去った。数々の防潮堤も津波を押し止めることができず崩壊した。

第19回県人会フォーラムは、この大震災を期に防災の第一人者でいらっしゃる村上處直(すみなお)先生をお招きし、広島大学のご協力を得て6月28日田町のキャンパスイノベーションセンターにおいて75名の参加者で開催した。



村上處直先生

村上先生は現在は防災都市計画研究所の会長であられ、東大、広大、早稲田等の教授を務められるなど、日本の都市防災計画の中心的な役割を果たして来られた。フォーラムでは復旧・復興と防災の観点で今回の

大震災を語っていただいた。

ご講演では先生が被災の直後現地に入られた折の被害地の惨憺たる状況や、被害を最小限に留めた地域の写真などを示されながら津

波被害に対する防災のありかたを示された。復旧・復興については米や台湾など海外の取り組み例を踏まえ、自立・自力で復興して行く方策が必要であること、また、防災面では常にハード面での備えが強調されるが、実はハード依存によって油断が生じ、大きな被害に繋がっていることや、日常からの緊密な地域コミュニティ作りなど、ソフト面での対策がさらに重要であることなどを強調された。大震災は日本中どこで発生しても不思議ではない。防災を国や自治体に依存するのではなく、常日頃から自分自身が防災対策することが必要だと痛感した。

県人会ニュースの前号(39)にも先生による記事が掲載されているのでご参考にさせていただきたい。



## 総務部 Report 第16回学郷会

7月26日(火)18:30より広島県東京事務所会議室にて第16回学郷会が開催されました。20名のご出席のもと、下記の通り三名の広島県東京事務所政策課長が講師となり故郷の動向について講義されました。

- 「広島県の農林水産について」田中健也政策課長(農林水産担当)
- 「広島の人づくり」平井幸政策課長(健康福祉担当)
- 「広島県の土木行政について」下隠俊作政策課長(土木担当)

田中課長の講義で印象的だったのは、豊表の原料であるい草が備後で昔より栽培されており、彼のご実家でも栽培されていたとの話でした。ただ、い草は熊本県が生産量第一位との説明もありました。

平井課長の講義で興味深かったのは、広島県から若者の流出が昨今目立っており、特に20歳代半ば



の若者は首都圏に就職したあと故郷に帰らない傾向があるとの指摘がありました。大学などの学び舎ではグローバル化が叫ばれています。これは世界の中で広島県を含め国際化(外国人教授・学生数の拡大)が遅れているからです。例えば、東京大学は日本で最も国際化されていますが、それでも30%程度でハーバード大学(米国)の85%と比べるとかなり低いと言えます。

下隠課長からは土木開発計画の詳細な説明がありました。



授章

## 春の叙勲・褒章

謹んでお喜び申し上げます。



旭日中綬章（鉄道事業功労）  
大田哲哉 様 [広島電鉄株式会社会長]



瑞宝中綬章（建設行政事務功労）  
下田公一 様 [元建設大臣官房技術審議官]



紫綬褒章ならびに旭日小綬章（芸術文化功労）  
秋山和慶 様 [広島交響楽団主任指揮者]



瑞宝小綬章（防衛功労）  
山縣秀雄 様 [元防衛大学校教授]



旭日小綬章（弁護士功労）  
山口邦明 様 [元日本弁護士連合会常務理事]

### ゴルフクラブ

世話人／山本武司

## 第3回（通算第32回）は、東日本大震災復興応援 チャリティーゴルフ大会として開催!

第3回例会は5月24日千葉・京葉カントリー倶楽部に72名のご参加のもとで開催されました。会場は県人会大竹副会長より特別にご紹介をいただき新緑景観美しいコースで皆様で一日プレーを楽しみました。

今回は3月11日の東日本大震災という事態を受け開催を悩みました。しかしこの例会を震災復興応援の一助とすべくチャリティーゴルフ大会として開催させていただくこととし、皆様にその旨ご案内申し上げましたところ、参加者全員のご賛同をいただき開催いたしました（そのときの募金111,545円は東京広島県人会として一括し、日本赤十字社広島県支部へ寄託）。改めまして参加下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

さて、その日のゴルフ大会の結果は優勝されました近藤勇樹さんより喜びの声としてご報告させていただきます。

### 優勝者・近藤さんのコメント

「このたびははからずも県人会ゴルフ会で優勝させていただき、ありがとうございます。私自身は東

京の生まれですが、父方・母方とも祖父の出身が広島であり、東京広島県人会には昔から入会させていただいております。多分、ゴルフに出させていただくのは4回目だと思います。今年は生憎の雨の中での開催でしたが、広島県東京事務所の鳥井原次長、広島へ赴任していた大学同期の箸本・伊澤両氏との和気あいあいのプレイでした。43, 46=89と雨中としてはまあまあの成績でしたが、所用があり、鳥井原さんを残して3人ともお先に失礼しました。ところが、鳥井原さんからお電話があり、私が優勝、伊澤さんが準優勝、箸本さんも6位とのこと。表彰式を欠席し本当に申し訳ありませんでした。幹事の皆様にはお手紙を書かせていただきましたが、当日ご出席の皆様へ改めてお詫び申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。」

最後になりましたがゴルフ大会にご協賛いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

次回第4回（通算第33回）は10月27日（木）埼玉・飯能グリーンカントリークラブで開催いたします。皆様ふるってご参加下さい。



優勝者の近藤さん



# 同好会 Report 同好会だより

初心者の方も、経験豊かな方も、ふるってご参加ください。

お問い合わせ 県人会事務局  
電話/03-3591-0028 FAX/03-5511-8803



## カラオケ同好会

世話人/漆谷憲康

毎年恒例の暑気払いをかねたカラオケ大会=銀座の柳を愛でる会を7月23日(土)13時より、「GINZA 未来家」で開催しました。節電が叫ばれる中、皆様元気一杯で大いに歌い且つ会話を楽しみ、広島的美酒と未来家の柳沢さんのおいしい手料理に舌鼓をうち、大満足の日でした。会の途中で竹本拓史氏が登場し、ボイストレーニングをして頂き、一層の盛り上がりを見せました。トレーニング後、皆さんの

歌唱力が一段と飛躍した感じでした。



## 陶芸同好会

世話人/児玉裕司

無心になって粘土と遊び、うつわを作る!  
そして、お仲間との良き語らい。

まだまだ残暑が厳しい8月26日(金)、本年4回目となる作陶会を行いました。今回は鉄分の多い黒土を使って碗や鉢を成形。素焼き後、青磁釉を掛けて焼成すれば、深みのある青色のうつわが出来上がります。

無心になって粘土と格闘した後の一杯は格別。良

いお仲間との語らいは郷土広島の話から芸術文化まで多義に渡り、親睦と交流の場として大いに盛り上がりました。次回は10月14日(金)を予定しています。皆さまのご参加と応援をよろしくお願い申し上げます。



## 写真同好会

世話人/山根治仁

写真同好会は春と秋に撮影会を実施しその作品を「東京広島県人会総会&新春懇親パーティー」の会場等に展示しております。

写真同好会では夏のテーマとして「花火」をとりあげてみました。花火の写真は普通にシャッターを切っただけではなかなか思うような写真になりません。必ず三脚、レリーズ、合成写真にするためのレ

ンズの前を覆う黒い用紙等を用意出来ればかなり面白い写真が撮れます。写真同好会の3名の花火の作品があつまりましたので掲載させていただきました。

写真同好会世話人 山根 治仁

TEL&FAX:043-350-3838

携帯電話:090-3814-0294

Email:yamane@gallery-kiki.com



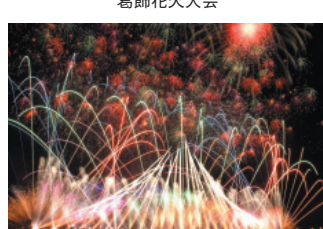
葛飾花火大会



木更津港花火大会



ふくろい遠州の花火



神奈川新聞花火大会



八景島シーパラダイス



昨年続き今年も軽井沢で合宿

夏合宿は今年も予定通り8月26、27日、軽井沢の「すずかる荘」に泊まって楽しみました。初日はいきなり雨に見舞われましたが、インドアコートが確保できてOK。翌日も午前中は無風薄曇りで絶好。みんなへとへとになるほど頑張りました。

同好会メンバーは、出身地・職業・年齢・趣味思考がばらばらなので、かえって異文化交流効果が生まれるのか、そして酒好きが多いせい、みんな仲良く賑やかに盛り上がっています。

大学の監督とか昔の名手が揃っているの、レベルはけっこう高く、みんな真面目に腕を磨いています。また広島県出身でなくても、ゆかりのある人は県人会に入って、テニスメンバーに加わってくれて

います。

毎月一回は名門「ミタカテニスクラブ」に間借りして腕を磨いており、年一回の夏合宿・忘年会もやっています。同好の人はどうぞ仲間入りしてください。(坂井昌彦)



青年部 Report 青年部だより 田中高志、阿南圭一郎

6月29日に2回目となる「青年部・学生部・幹事懇親会」を開催しました。当日は47名の方が参加し、世代を越えたコミュニケーションを楽しんでいました。今回、初めて県会のイベントに参加されたメンバーも少なくなく、良い「きっかけ」をつくることができたかと思えます。

「世代を越えた・・・」といえ、恒例のメープル杯ソフトボール大会もその1つの場。今年は、7月2日に行われました。連覇を狙う青年部チームは、初戦から本領を発揮することができず、残念な結果となりました。来年こそは、リベンジを達成したいと思えます。

8月13日に「第2回カープ観戦」を開催しました。

今回はお盆期間中の開催ということもあり参加人数に正直不安もありましたが、当日は、確保していたチケットでは、数が足りず、ご自分で手配していただいた方も出た程、大勢の方にご参加いただきました。当日は、勝てば、単独3位のチャンスもあり、また、前回同様、応援団の真下の席で観戦することが出来、迫力ある声援の中、非常に盛り上がりました。が、残念ながら、成績はカープが最後の最後に負けてしまいました…ですが、後半戦カープも例年とは一味も二味も違う粘り強さも発揮しております。クライマックス出場へみんなに応援して行きましょう。

青年部ブログ

<http://seinenbukenjinkai.blogspot.com/>



懇親会当日、関西のテレビ局の取材があり、全員でカープの歌を合唱しました。



懇親会、世代を越えた集合写真!



ソフトボール大会での記念撮影

## 広島の今 Topics ふるさと広島通信 三宅恭次(中国放送OB)

### 銀座松屋「宗箇展」開催迫る！

前号でお知らせしました＝生誕450年記念「上田宗箇 武将茶人の世界展」＝〔東京展：松屋銀座8階大催場 平成23年12月30日（金）～平成24年1月16日（月）（元日は休）〕は開催まで2カ月余りとなりました。現在、企画内容の詰めの作業がおこなわれています。主催は、NHK、NHK プロモーション、広島県です。

上田宗箇は秀吉の側近大名であり、江戸期には広島浅野藩の国老を務めた武将ですが、千利休や古田織部に学んだ当代有数の茶人でもありました。今回の特別展は激動の時代を生き抜いた武将茶人宗箇の足跡を辿り、ゆかりの文化財を一堂に展示するものです。

催事場の構成は4つのパートに分かれています。入口正面には宗箇着用の陣羽織と荷い茶屋と呼ばれる安土・桃山時代の野点のセットを展示、信長－秀吉－家康－浅野と歩んできた武将宗箇を歴史上の出来事と合わせて紹介します。次のパートが今回の目玉です。「武将茶人の創意」と題して上田流和風堂内の数寄屋遠鐘、鎖の間、露地を再現するスーパーリアルミュージアムのコーナーです。次のコーナーでは「へうげもの」たる師古田織部と宗箇が目指した創作茶道具と宗箇ゆかりの茶道具を見ることが出来ます。最後の4番目のコーナーは宗箇の美意識の世界が展開されます。織部の指導を受けながらも「我流」を貫いた宗箇作の御庭焼茶碗「さても」、折撓（おりだ）めの茶杓、篋目（へらめ）の強い竹花入…、



上田宗箇の甲冑



古田織部を描いた長編大河漫画「へうげもの」

武将として勇猛果敢であったその性格を表すように豪快そして独創性あふれる道具類は観るものを魅了することでしょう。

今、山田芳裕作の古田織部を描いた異色大河漫画「へうげもの」(『週刊モーニング』隔週連載、NHK-BSプレミアム木曜夜11時放送)が話題を呼んでいます。作中には上田重安(佐太郎)＝宗箇も度々登場します。特別展の主催者NHKプロモーションでは山田芳裕氏と発行元講談社とタイアップして会場内に山田氏のメッセージ、宗箇の肖像イラストなどが使えないか、お願いすることにしています。

なお、同じ8階フロアで広島県では初めての本格的な広島県物産展の開催が1月11日(水)～16日(月)の間で予定されています。「宗箇展」との併催ということで、物産展の内容も宗箇展と調和の取れたものにするべく現在、鋭意検討が進められています。

「宗箇展」の広島での開催は2月11日(土)～3月25日(日)の44日間、ひろしま美術館で予定されています。

### 自治体初の「成長ファンド」事業開始

湯崎英彦知事が選挙の際掲げたマニフェストの中の具体的な目玉事業の一つが「『広島版産業革新機構』を設立し、産業、企業の活性化を図り広島県を新たな経済成長へ導く」でした。

「革新機構」はその後議会の承認を経て、全国の自治体では初めてとなるファンド運営会社、(株)ひろしまイノベーション推進機構(代表取締役社長：山下尊弘)として5月に設立され6月から営業を始めています。

機構はベンチャー投資や事業再生を目的としたファンドとは違い、成長のための次のステップを目指す企業や企業内の事業部門の切り出しを対象に、資金面だけではなく経営全般に亘って支援していくものです。ファンドは広島県出資の1号ファンド40億円と現所在地場金融機関などを対象に募集中の2号ファンド60億円を合わせて100億円規模になります。投資先の選定作業も始まっていますが、機構では「審査には十分時間を掛ける。今年度中に1件決まればよい」としております。1件当たりの投資額は数億円から十数億円、件数で10社程度を見込んでいます。



機構は「出資先と信頼関係を作り上げることを前提にお金を出し、足りないものを補完し、成長のための阻害要因を取り除くことが我々の役目」とし、「その為に投資担当者が社外役員として経営に関わる。従って投資先として関与できる企業数は10社程度が限度」とのこと。

ファンドの期間は12年。機構では「最初の6年で投資、後の6年で成長のお手伝いをする」としています。

#### ◆(株)ひろしまイノベーション推進機構・山下社長にインタビュー

社長の山下尊弘さんは広島県の出身。大手銀行とその関係会社で長年に亘って投資業務に携わってきた方です。

—社長を引き受ける決断をされた一番の要因は



山下尊弘さん

「湯崎知事の広島をなんとか元気にしたいという思いを意気に感じた。人口減少社会にあっては、何もしなければ気が付かないうちに衰退する一方だ。次

の世代のことを考えると、今手を打たなければならぬ。ふるさと広島を元気にするため、自分の経験を活かせば、と思った」

—広島県経済の印象は

「基幹産業である自動車、造船などをはじめとする製造業やサービス業、オーナー系の企業など良い会社が沢山ある。ただ成長を支援するファンド機能が広島にはない。我々はその役割を担い成功事例を作って広島県経済の発展に寄与したい」

—社長に就任して現在の感触は…

「ファンド組成の目処も立ってきた。投資対象となりそうな企業も色々あっているが面白い企業が多い。県主体のファンドを作ることについて、いろいろな意見があったようだが、私自身もあらゆる機会に説明していきたいし、何より実績を作ることが一番だ。とにかく失敗は許されない」

—県が運営に携る自治体初のファンドですが…

「個人的なネットワークも活かしていくが、広島県という絆で広がっていくと嬉しい」

—東京で活躍されている広島県出身者へのメッセージを…

「県出身者は政・財・官・学などあらゆる分野で中心となって活躍されている方が多い。いろいろな情報を挙げて頂きたいし、ぜひともこのファンドを応援して頂きたい」



## 大河ドラマ「平清盛」 広島県推進協議会

大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会は、「平清盛」が平成24年の大河ドラマに決定されたことを契機に、今までの「平清盛」のイメージを一新し、本県のイメージアップ及び観光客の誘致促進並びに経済の活性化に寄与するキャンペーンを行っています。

キャンペーンのシンボルとなる、今までの「平清盛」のイメージを一新する「キャラクター」及び「ロゴタイプ（文字デザイン）」を、次のとおり決定し、ポスター、パンフレット等を作成いたしました。

引き続き、特設サイトの開設などインターネットを用いた広告宣伝やガイドブックの作成など、観光客の誘致促進並びに経済の活性化に取り組んでいきますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



問い合わせ先

大河ドラマ「平清盛」広島県推進協議会事務局

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

広島県商工労働局観光課内

電話：082-513-3392

E-mail：syokankou@pref.hiroshima.lg.jp

## 観戦 Report カープ観戦記

6月10日快晴の西武球場、プロ野球セ・パ交流戦 広島東洋カープ対西武ライオンズの試合が行われた。東京広島県人会の行事としてカープ応援を行うべく募集したところ72名の参加を得た。この試合の為に諸準備は西武球団の末木営業部長のご助力に負うところが大きであった。末木部長はかつてグランドプリンスホテル赤坂の営業部長であり、県人会総会の際のホテル側の総指揮官でもあった。その縁もあり前健弁当・栗原弁当（いずれもマツダスタジアムでのみ販売）の手配、内野指定席の手配、更には西武球場駅前に東京広島県人会のテント張受付の設置まで、大変ご尽力いただいた。



©SEIBU Lions

テントが改札口からすぐの場所にあった関係で色々な方が覗いていかれた。中でも呉から応援に来た20代の女性から挨拶



©SEIBU Lions

を受けたのには驚いた。カープの追っかけをやっているとのこと。本当のカープファンに所沢で会った感じがすると共に、広島県人会に対して郷愁を感じられたのではないかと思います。彼女は翌日はロッテ対カープ戦を千葉マリスタジアムで観戦すること。カープ球団は有難いことだと感謝すべきだと思うのは私一人だろうか。

試合は8回まで0対0の投手戦。9回表カープが梵のスクイズで1点先取。わが応援団の中の数名は電車の都合もあり勝利を確信し帰途についた。しかしその後西武中島のホームランで同点となり、サヨナラのピンチとなったが、かろうじて1対1の引き分けに終わった。なかなかの好ゲームとでも言うおこうか。

## 注目記事 Hot News 「Capital」とは?

都内のお好み焼き屋さんで目にした方もいらっしゃるかもしれませんが、都内の大学に通うカープファンの学生さんたちが発行しているフリーペーパー「Capital」についてご紹介します。球場に通うたびにここはホームか?と見まごう程の関東のカープファンの熱さを感じ、この熱い関東のカープファンをつなげられる媒体になればという思いから作られた雑誌です。名称は英語で首都を意味するCapitalとカープの「C」から名付けられました。

最初はたった二人から始めた雑誌が今はメンバーも増え、取材、執筆、編集、広告取りなどすべてメンバーが講義やアルバイトの合間をぬってこなしています。創刊号は2010年2月18日。以後、現在までに4号発行されています。創刊号は石井琢朗選手に、2号では達川光男さん、3号では廣瀬純選手にインタビューを敢行。他には球場でカープファンに体当たり取材して作る『十人十色』、カープ選手

## Capital

ゆかりのお店の紹介、カープへの思いを綴ってもらった『鯉文』など、内容も充実しています。また、県人会の6月10日交流戦観戦会のことが9月下旬発行の4号に掲載されています。



街で見かけたら是非手にとって読んでみてください。そして、Capital編集部 of 学生さんたちを応援してあげてください!

ホームページに設置場所などの詳しい情報が出ています。

Capital編集部: <http://capital21.web.fc2.com/>  
メールアドレス: [editing\\_capital@yahoo.co.jp](mailto:editing_capital@yahoo.co.jp)

# 統一球の風に乗れ！ カープの機動力野球



スポーツジャーナリスト 岡田忠

すっかり宿命つけられたとは、頂けない。広島東洋カープのクライマックス・シリーズ（CS）脱落のシナリオである。9月初旬に阪神とヤクルトに3連敗して、これで14シーズンBクラスは決まったようなもの。ファンのフラストレーションは溜る一方だ。そのうち評判の球場人気も薄れてファン離れが起きるかもしれない。

あえて言う。プロ球団として長い期間の無惨な戦績は熱列なファンに対しての背信行為だと思う。例え、親会社を持たない市民球団として健全経営を標榜していても、それは何の言い訳にもならない。

東京都人会ニュース38号でも書いたように、優勝争いをして、その結果としての3位なら納得だが、CS進出さえ叶わぬBクラスでは納得しかねるのだ。

知り合いの熱心なファンが言っていた。「だけどね、ようやくと思うよ。あの戦力で」よき理解者の慰めの声に聞こえるが、取りようでは“所詮はBクラスなのだから”と言っていないか。

今更悔やんでも詮無（せんない）が、反省点を挙げれば、ペナント争いを軌道に乗せたい大事な時期のセ、パ交流戦で10連敗はボデーブローのように効いた。エースの前田健太で勝てず、四番の栗原健太が出遅れた。二人が調子を上げた7、8月はともに勝ち越し、5割に手が届くところまで頑張れたのをみてもあの連敗が悔やまれる。

いつのシーズンも誤算はつきものではある。しかし、メジャーで実績のあるチャッド・トレーシーが6月に股関節痛で戦線離脱、8月に急遽補強したブライアン・バーデンも積極性に欠ける。この野手組の期待外れは打てない打線をより印象づけた。それに比べて、外国人投手は立派だった。8月いっぱいまで上位進出に可能性を残せたのも、ブライアン・バリントンと抑えのデニス・サファテのお陰だった。

こうした戦力の凹凸をいかに整備していくか。明るい光が射す投手力と自慢の機動力野球をどうマッチさせていくかが今後の課題だろう。



©中国新聞社

追い風が吹いているとすれば、今年度から公式球として採用された「統一球」だ。加藤良三コミッショナーが国際基準のボールを導入するよう提案して取り入れられたもので、このボールは飛ばない。ミズノ製で中国で製造されている。ご存知のように軒並みに本塁打が激減して、「投高打低」の傾向になった。選手に聞いても「こすったような打球ではスタンドまで届かない」と嘆く。一発逆転を演出する本塁打の魅力も捨てがたいが、強肩、俊足が生むスリリングな攻防は野球の原点、カープに向いていないか。

カープが初めてペナントを制した1975年を思い出して見よう——、大下剛史、三村敏之、ゲイル・ホプキンス、山本浩二、衣笠祥雄、リッチー・シェーン、水谷実男、水沼四郎と続くオーダーは、走れて、繋げて、勝負強くて、一発もあり、しかも守れる魅惑の布陣だった。投手陣も外木場義郎、金城泰らがいた。これを古葉竹識監督が巧にまとめ、忍耐強い采配で初優勝へと導いた。

現在の布陣が当時ほど成熟しているとはとても思わないが、小回りの効く選手が揃っている。つまり、カープの最大の武器は「山椒」のようなピリリと辛い野球なのだ。

残念なことに頼りは栗原だけで打線の軸になる選手がいない。だからといって手をこまねいては時間がない。チーム内に人材がいなければ、FA選手を積極的に獲得して、もっと勝負強い、得点力のある打線を目指すべきだ。残塁が多すぎる。決定打がない。球団自体が補強への姿勢と意欲をもっと示すべきだ。でなければ欲しい選手も来てはくれない。

広瀬純、東出輝裕、梵英心、赤松真人、天谷宗一郎らは揃って30歳前後である。彼らが働き盛りの時期に急いで陣容を整えなければ、「統一球時代」に見合ったカープらしいスリリングな野球は完成しないだろう。熱狂的なカープファンも、何時までも気長に待ってはくれる保証はない。

## 映画 Cinema 自主制作映画「運命の背中」

自主制作映画「運命の背中」の上映会が渋谷アップリンクで開催されました。先入観無しで観て、手作りの映画としては多くの苦労の中から良く作り上げたものだと感心したのが本音です。しかも5日間の撮影スケジュールで撮ったとはビックリしました。製作者は出山知樹氏。NHKの現役のアナウンサーです。広島放送局勤務によってこの話を聞かれ、夫婦の物語に運命的なものを感じ、しかも原爆の恐ろしい惨状ではなく力強く生き抜く人間としての姿を感じたとのこと。製作者の優しい心根がうかがわれます。

広島出身ではない方が仕事の合間に映画を自主制作するという、広島出身者は何をしているのかと言うお叱りとも受け取れる映画、音楽も佐村河内守氏の交響曲、ぜひとも色々な方に観てもらいたいと思うのは私だけでしょうか。色々な機会を作って是非ご覧いただけることを希望して。



「光る背中」のシーン

## 観戦 Report サンフレッチェ広島 vs大宮アルディージャは1-0で辛勝

7月3日NACK5スタジアム大宮でサンフレッチェ広島と大宮アルディージャとの第2節の試合を応援しました。県人会から190名の参加があり、大宮アルディージャさんのご好意で今回も小3から中3までのお子様を含めたハイタッチで選手を送り出し健闘を祈りました。



試合は前半かなり押し込まれましたが、なんとか持ちこたえて後半へ。後半早々コーナーキックから盛田剛平がヘッドで

押し込み先制。その後、アルディージャの猛攻に耐えていましたが、ついにペナルティキックを与えてしまい万事休す。関東サポーター達と祈る思いでワールドカップのゴールを死守した西川に全てを託しました。西川はサポーターの思いに応えるように見事にペナルティキックをブロックし、1-0での勝利を引き寄せました。試合後も守護神・西川へのエールが止まず、西川も最後までピッチから声援に伝えていました。

今回もハイタッチの他、オタフクのお好み焼き、がんこ屋の尾道ラーメン、広島県の観光ブースなどをご用意していただくなど大宮アルディージャさんのご好意に感謝します。また県人会の応援のたびに勝利のプレゼント、ありがとうございます。

おすすめ  
DVD

### 「BADBOYS」の実写映画版、DVDで新登場!

発売元 / ポニーキャニオン

広島を舞台にした田中宏原作「BADBOYS」は累計発行部数4,000万部を誇る伝説のコミック。本作はオール広島ロケを敢行し、旧広島市民球場、比治山公園、タカノ橋商店街、新天地公園、お好み焼き屋「八昌」、路面電車など、広島県人にとってゆかりの深い場所が次々と現れる。時代設定を現代にアレンジしながらも作品の世界観はそのまま表現、原作コミックファンにとっては納得の内容と、広島を懐かしむ映像満載で、これぞ広島語とウチ映画の決定版!と言える内容になっている。広島出身の大スター、山本浩二さんと竹原慎二さんの2人が出演しているのも必見!



バリエーションBOX (初回限定生産)  
6,300円(税込) / 3枚組



通常版 3,675円(税込)

研修会  
**Report**

# 23年度 夏季幹事研修会報告

池永憲彦



9月2、3日に実施した今年の研修会はとても心に残る時間でした。震災後初めての旅行という事で、あえて風評被害を受けている場所を選び、福島の旅館へ一泊し、二本松と日立市の酒造見学、北茨城で昼食、福島の水族館にも行きました。私自身、炊き出しで二度福島に行っているので今回のこの少しでも力になりたいという「想いを込めた研修旅行」に深く感慨し、改めて素敵な人達に囲まれている事を知り、同じ広島人である事を嬉しく思いました。

宿泊した岳温泉「陽日の郷あづま館」はとても素敵な旅館でした。料理は美味しいし、温泉は源泉かけ流し、部屋も建物も綺麗。全く言う事のない旅館なのにも関わらず、おかみさんの挨拶で聞いた言葉

は衝撃的でした。福島への風評被害は深刻で、宿もずっと現在もほとんど全キャンセルだそうです。なので、県人会が団体の宿泊した事を心から喜んで下さいました。メンバー一同大きな声でおかみさんを激励し、声高々に乾杯しました。

昼食で行った北茨城の五浦観光ホテルのおかみさんも挨拶で声を詰まらせてしまい、涙を我慢しきれなかった事が印象的でした。酒造にしても、今回行った場所は震災被害と闘い、懸命に前に進もうとしていました。少しでも協力出来た喜びと、改めて考えさせられる事の両方が詰まった忘れられない研修旅行になりました。

告知  
**Information** ひろしま安芸高田神楽 第1回東京公演

2012年1月、安芸高田の神楽が、東京・新宿にやってきました。お誘い合わせの上、ふるさとの伝統芸能をぜひご堪能ください。



日時：2012年1月15日（日）  
14時開場、14時30分開演  
場所：新宿文化センター大ホール  
演目：紅葉狩／吾妻山  
出演：横田神楽団  
主催：安芸高田市  
後援：広島県、国土交通省中国運輸局  
企画制作：神楽門前湯治村  
S席2,000円 A席1,500円 2F自由席1,000円  
電話予約／チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード：415-604)

**NEWS** 2011年10月～2012年1月  
広島イベントスケジュール

イベント名	開催地	期間	問合せ電話番号
ひろしまフードフェスティバル	広島城周辺	10/29・30	082-222-1133
町並み竹灯り たけはら憧憬の路	竹原町並み保存地区一帯	10/29・30	0846-22-7745
尾道ベッチャーまつり	尾道市内一円・一宮神社（尾道市）	11/3	0848-25-7184
お通り	東城町市街地（庄原市）	11/3	0847-72-0525
21世紀の朝鮮通信使行列	福山市鞆町一帯	11/6	084-928-1043
三原浮城まつり	JR 三原駅周辺、三原港周辺（三原市）	11/6	0848-63-1481
2011くれ食の祭典	呉市中央地区 蔵本通り一帯、楓橋	11/6	0823-21-0151
火とグルメの祭典あきつフェスティバル	安芸津市民グラウンド（東広島市）	11/12・13	0846-45-1623
ひろしまドリミネーション 2011	平和大通り周辺（広島市）	11/17～1/3	082-247-6805
ウィンターイルミネーション 2011	国営備北丘陵公園	11/18～12/25	0824-72-7000
そばまつりとよひら 2011	道の駅豊平どんぐり村	11/19・20	0826-84-1414
フェスティバル江田島 2011	国立江田島青少年交流の家（江田島市）	11/20	0823-42-0660
ひろしま神楽グランプリ 2011	神楽門前湯治村（安芸高田市）	11/26	0826-54-0888
平清盛ドラマ館（宮島）	宮島歴史民俗資料館	2012/1/14～2013/1/14	0829-30-9130
平清盛ドラマ館（呉）	おんど観光文化会館うずしお	2012/1/14～2013/1/14	0823-25-3311

※イベントの内容、実施期間等が変更される場合がありますので、事前にお問合せください。

# 広島のかみなぎる **企業プロフィール**

## [Company Profile]

### 新庄みそ

ホームページ <http://www.shinjyo-miso.co.jp/>

創業以来80余年、当社は広島の有しみそメーカーとして着実に成長してきました。これもひとえに皆さまのご愛顧の賜ものと心から感謝しております。

日本人の食と命を支えてきた食材であるみそを造れることに誇りと責任をもち、原材料を厳選することはもちろん、伝統の職人技にコンピューター技術による徹底した管理を融合させ、安心・安全な商品を食卓へお届けできるよう日々励んでいます。



工場の様子

米麴をふんだんに使った広島伝統の上品な白みそ、大豆や麦などの素材の味が生きたあわせみそなどをベースに伝統を大切にしながらも、その味に磨きをかけ時代に合わせた新商品づくりも積極的に行なっています。



かきだし入りみそ

#### 新庄みそ株式会社

本社／広島市西区三篠町3丁目12番23号  
創業／大正12年  
事業内容／みそ、調理みその製造

### いずの水産

ホームページ <http://www.anago-chikuwa.co.jp/>

それまでの「竹輪」のイメージを一新させるあなご竹輪を、業界で初めて誕生させたのは平成元年の事でした。それから23年、いずのはもっと旨いあなご竹輪をお届けするための努力を常に重ね、より味わい深い品になるように励んでいます。

取れたての新鮮な素材ならではの旨みを際立たせるために、素材の切り方・混ぜ方・合わせの比率から、たれの調合・焼き・蒸し・揚げ方などすべて熟練した職人の目と手で丁寧に作りあげた、あなご竹輪、たこ竹輪、かき蒲鉾、あなご天、あなご蒲鉾など匠の技でひと品ひと品、心を込めて作り上げた「いずの」の逸品たち。

平成22年にはおかげ様であなご竹輪を広島ブランドに認定していただきました。新商品のあなご竹輪山椒・あなご竹輪チーズ、あなご蒲鉾白焼き、女

性向けの美食コレクションなど、自然の恵みの活かした「瀬戸内の味・広島の味」をぜひご賞味ください。



あなご竹輪



#### 株式会社出野水産

本社／広島市西区草津港1丁目10番26号  
創業／大正12年1月  
事業内容／魚肉練り製品の製造・販売

東京広島県人会では、さまざまな企業・団体からのご協力をいただいています。  
ここでは、広島を地盤として日本全国や海外で活躍する企業・団体をご紹介します。

## ますやみそ

 <http://www.masuyamiso.net/>

「母さんの味」としてお客様の食卓に欠かすことのできない「ますやみそ」として、昭和4年に創業しました。今では2千種類近くの商品が発売され、最近ではみそを使ったぼん酢など、みそ以外の商品も発売しております。

「かきの土手鍋」は、昭和58年に同業他社にさがかけて鍋料理に取り組みはじめた第一弾目の商品です。米みそと麦みそ、豆みその難しいブレンドを、



かきの土手鍋

一流料亭さんと共同で、家庭用にアレンジして提供させていただいたのがはじまりです。かきの味が引き立つような味に仕上げられており、美味しいかきの土手鍋が家庭で手軽に味わえます。

これからも、お客様が食べられることで笑顔になる美味しい商品を作り続けてまいりますので、ぜひ一度ご賞味ください。



みそぼん酢



塩ぼん酢

### 株式会社ますやみそ

本社／呉市西中央3丁目7番40号

創業／昭和4年4月1日

事業内容／みそ、調味料みそ、調味料食品、甘酒、麴の製造販売

## 横山甘泉堂

明治18年創業、昔ながらの変わらない製法で田總（たぶさ）羊羹を作り続けています。

北海道十勝産の小豆、国産の寒天そして平成14年から作り始めた塩羊羹には、呉市蒲刈町の「海人の藻塩」を使用しています。少人数で製造・販売していますので、従業員みんなが強い思い入れを持っています。

これからも、昔ながらの変わらぬ味を提供し続けていきたいと考えています。

●全国菓子産業博覧会 名誉金賞（昭和29年）

### 有限会社横山甘泉堂

本社／庄原市総領町稲草 2043

創業／明治18年

事業内容／和菓子製造・販売



田總羊羹



店内の様子

# Welcome 新会員の皆さま、東京広島県人会へ、ようこそ。

2011年4月23日～9月2日に  
ご入会いただいた方々（敬称略）

氏名	勤務先名	氏名	勤務先名	氏名	勤務先名
青木 芳允	広島テレビ放送(株)	新屋 元英	リョービ(株) 総務部東京総務課	福岡 正章	藤倉化成(株)
飯塚真奈美	ジャパンハーツ(株)	鈴木 雄大	早稲田大学 先進理工学部	不二川公勝	本願寺築地別院
池上 則雄	(株)カツコポーレーション	鈴木龍之介	フォーシーズンズホテル丸の内東京	礼場 大久	(株)マツダE&T
石川 正夫	広島テレビ放送(株)	田内 恒治	(株)HSリーゼンバーク	堀内 信大	リーガルエイド法律事務所
伊藤 博秀	淑徳SC中等部高等部	高島 誠	三井住友銀行	正木 文雄	(有)正木屋
上向井るみ		辻 恵和	(株)NTTデータ中国 金融ビジネス事業部	松岡 英明	広島テレビ放送(株)
上村 健二	株式会社テクノ菱和	津田 弘之	(株)弥生共済会	松原 邦雄	
内山 誠一	中国電力(株)東京支社	出山 知樹	日本放送協会	松本 憲隆	(株)ポニーキャニオン
大曾根哲夫	元広島県議会副議長	友岡 静江		深山 真希	(株)ポニーキャニオン
岡平 将宏	オカヒラ建築設計ジムシヨ	中井 典絵	法政大学院政策創造研究科	妙田 源也	(株)レスキューネットワーク
小川 悟	(株)オガワエコノス	中林 幸宏	広島テレビ放送(株)	村上 理奈	三井生命保険(株) 西東京支社
沖口 真也	(株)ダイクレ 東京支店	中安 博海	Dining Bar 海	森本 博生	(株)信興テクノミスト
奥田 純	広島テレビ放送(株)	成川 哲夫	興和不動産(株)	山田 正人	横浜市役所
小田 憲子		西村 和浩	(株)NTTデータ中国	山野上 亮	広島テレビ放送(株)
織田 有紀	中央三井信託銀行 日本橋営業部	野口 織恵		山本 敦士	広島テレビ放送(株)
川畑 洋典	(株)プリンスホテル	野中宗一郎	五洋建設(株) 土木企画部	山本 光昭	環境省 水・大気環境局
倉田 泰行	広島テレビ放送 東京支社	萩原 幹史	(株)テレビ新広島 東京支社	吉岡 辰訓	NPO 法人黄金町エリアマネジメントセンター
河野 宏昇	スマイルバンク(株)	濱中 康男		芳野 敬子	RKK JAPAN(株)
高路地修平	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)	濱野純一郎	広島テレビ放送(株)	渡邊 敬一	
坂本 篤伸	理研産業(株) 東京営業所	林 紀孝	宗教法人 靖國神社	渡邊 恒行	浄土真宗本願寺派 浄興寺
鷺山研一郎	広島テレビ放送(株)	原田 渉	(株)ビー・ツー・イン	渡邊 洋輔	広島テレビ放送(株)
佐々木和彦	(株)広島ホームテレビ	久次 要	デル(株)		

## 訃報 増岡博之さんご逝去 二葉あき子さんご逝去 ご冥福をお祈り申し上げます

東京広島県人会増岡博之常務理事（株式会社増岡組最高顧問）が7月24日逝去されました。増岡氏は衆議院議員・厚生大臣を歴任、政財界で華々しく活躍。9月29日「お別れの会」がホテルニューオータニで執り行われました。

歌手二葉あき子さんが8月16日逝去されました。二葉さんは東京音楽学校卒業後、音楽教師を経て歌手としてデビュー。「フランチェスカの鐘」「夜のプラットホーム」「水色のワルツ」とヒットを飛ばし、東京広島県人会の総会にもしばしば出席を戴きました。

## ホームページ Homepage 東京広島県人会の 会員皆様の広場です

デジタル  
投稿  
コーナー

東京広島県人会では、東京広島県人会ホームページ上に会員の皆様から寄稿して頂いた内容を掲載するデジタル投稿コーナーを開設しています。紀行文、随筆、詩歌、俳句、デジタル写真等何でも結構です。下記メールアドレスに送付していただければ、県人会

ホームページ管理者がホームページに掲載いたします。皆様の奮っての参加をお待ちしております。

送付先メールアドレス [toko@hiroken.gr.jp](mailto:toko@hiroken.gr.jp)



東京広島県人会ホームページ  
<http://hiroken.gr.jp/>

編集  
後記

「天災は忘れた頃にやってくる」(寺田寅彦)

有名な言葉ではあるが、今年の日本は「災害はすぐにやってくる」の感がする。東日本大震災の後に台風12号、更に台風15号と立て続けに日本列島に襲来した。その被害は甚大であり、復興に大変な力が必要となってくる。自然の脅威をまざまざと感じさせる。人間の歴史はこの繰り返しであったように思われる。自然との戦いであったが、人間が文明の力で地球に対し開発を進めてきた結果が出ているのかもしれない。然しながら、地球に対する人間の優しさが本当にあったのだろうか。共生というのは人間同士が共に生きるだけでなく、周囲と共に生きることであって現代人が最も得意なことではないだろうか。また、人間の能力が台風等のエネルギーを建設的な方面に利用することが出来るのではないかと感じるし、英知をもってそのことが拡大再生産につながればと希望したい。ただ、災害はやって来てほしくないのが本音である。(ま)

東京広島県人会ニュース 第40号

第13巻 第2号 平成23年(2011年)10月12日発行

編集人/漆谷憲康

編集委員/小林康司、竹本直、好澤一穂、山本武司

制作・デザイン/濱田博文、後藤重毅

(株)民評社

印刷/株総北海

発行人/松島和夫

発行所/東京広島県人会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-8

虎ノ門琴平タワー22階

電話 03-3591-0028

